

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成29年度第3四半期（平成29年10月～12月）

1. 治安情勢

- 11月5日、ムンバイ国際空港において、サウジアラビアから入国した ISIL の信奉者を逮捕した。同容疑者は、本年4月にムンバイ市への大規模テロを計画して逮捕されたグループのナンバー2で、暗号化機能を有している SNS でテログループの他のメンバーと連絡を取っていた。
- 10月25日、グジャラート州において2人の ISIL の信奉者が逮捕された。容疑者らは、12月に州内で開催される予定の選挙をターゲットにテロ攻撃を仕掛けるべく準備を進めていた。また、アーメダバード市内に所在するユダヤ教寺院を攻撃することも計画していた。
- 10月26日、マディアプラディッシュ州において、15万ルピー相当の偽札の所持と偽札を市場で使用した疑いで2人の男が逮捕された。警察の家宅捜索時に偽札の印刷機も押収された。
- 10月から12月の間、チャッティースガル州では、極左武装組織ナクサライト関連で10人の一般市民、3人の治安部隊員、21人のナクサライトメンバーが死亡した。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6. 犯罪発生状況

邦人が被害に遭った事案については、昨年単独の邦人旅行者を狙った睡眠薬強盗被害が相次いで発生した。手口はいずれも親しげに近づいてきて打ち解けたところで睡眠薬入りの飲食物を勧められて昏睡したところを金品を窃取するというものであったことから、不用意に誘いに乗らず、飲食物等勧められても毅然と断る姿勢が必要である。

現地人によるガイドの申し出を受けて一緒に観光し、手荷物持ち込み禁止の寺院に立ち寄った際に「自分が見ていてやるから大丈夫だ」と言われて荷物を預けたところ、

そのまま荷物を持ち去られるケースも数件発生しているので、ガイドの手配は正規の代理店を通じて行うべきである。

また旅行者が多いエリアにおいてはスリ被害も発生していることから、人の多いエリアでは携帯品の管理に配慮することが必要である。特に列車内での犯罪、携帯電話を狙ったひったくりや急に殴りつけてきて金品を奪い取る事案も報道されているので、列車に乗る際は十分な注意が必要である。